

平成28年度予算見積調書

課室名：環境政策課
 担当名：環境エネルギー・放射線担当
 内線：3004 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B1	水素エネルギー普及推進事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	低炭素分散型エネルギー社会構築事業費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	エネルギー政策基本法			戦略項目	09	新エネルギー埼玉モデルの構築	
						分野施策	040202	低炭素な暮らしとまちづくりの推進	
1 事業の概要 地球温暖化対策の切り札とも言える水素エネルギーの普及を図るため、水素供給インフラの整備や燃料電池自動車の普及などに取り組み、水素社会実現に向けた取組を強化する。 (1) 水素エネルギー普及推進協議会の運営 155千円 (2) 水素供給インフラの整備に係る調整等 190千円 (3) F C V率先導入事業 3,262千円 (4) 水素エネルギー普及推進事業 5,020千円 (5) 水素ステーションの運営・管理 12,136千円 (6) 燃料電池自動車導入補助 100,000千円 (7) 先進的事業推進補助 156,939千円 (8) 県庁舎等への燃料電池導入事業 30,253千円 (9) 水素社会実現に向けた検討・調査 12,540千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 埼玉県水素エネルギー普及推進協議会の運営 155千円 イ 水素供給インフラの整備に係る市町村との調整及び現地調査 190千円 ウ F C V率先導入事業 3,262千円 エ 水素エネルギー普及推進事業 5,020千円 オ 水素ステーションの運営・管理 12,136千円 カ 燃料電池自動車導入補助 100,000千円 キ 先進的事業推進補助 156,939千円 ク 県庁舎等への燃料電池導入事業 30,253千円 ケ 水素社会実現にむけた検討・調査 12,540千円 (2) 事業計画 平成26～30年度 埼玉県水素エネルギー普及推進協議会の運営 平成27～35年度 県庁ソーラー水素ステーションの運営・管理 平成27年度～ 燃料電池自動車導入補助 平成27年度 「燃料電池自動車・水素ステーション普及構想」の策定 県有施設等への大型燃料電池発電の導入の検討・設計 平成28年度 県有施設等への燃料電池発電の導入の検討等					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況				(3) 事業効果 ・化石燃料に代わり再生可能エネルギーで製造した水素を活用することで劇的にCO2削減が進む。 ・蓄電池に加えてエネルギーの貯蔵と輸送の選択肢が拡大することで、さらなるエネルギーの効率利用が可能になる。 ・燃料電池をはじめとする水素エネルギー関連技術は日本が誇る先進技術であり、海外との産業競争力の強化につながる。					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.5人				(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 事業者から先進的な取組の提案を募り、補助を行うことで、民間の活力を引き出す。					
				財 源 内 訳					
予算額		県債						一般財源	前年との対比
決定額	320,495							320,495	90,158
前年額	230,337	18,000						212,337	